

統合新校の校歌制作について

現在の両校校歌について

杉並第五小 教育目標
 よく考え ... 知
 心ゆたかに ... 徳(心)
 たくましく ... 体

若杉小 教育目標
 よく考える子 ... 知
 思いやりのある子 ... 徳(心)
 最後までやりぬく子 ... 徳(心) & 体
 体のじょうぶな子 ... 体

校 歌

作詞・石森 延男
 作曲・中田 喜直

一、ここ ルーフから 見える富士
 かがやくばかり 美しく
 望みは高く おおらかに
 つばさ ゆたかに はばたこう
 幸 いっぱいの 学びやは、
 日本の都 東京の
 杉並第五小学校
 杉並第五小学校

二、ここ 教室の まどべには
 むさしの わたる 朝の風
 真理の世界 そよがせて
 深く 学べと よびかける。
 (くり返し合唱)

三、さあ たくましく のびのびと
 きたえて いこう このからだ、
 あらしがきても おそれずに
 光あふれる 毎日を。
 (くり返し合唱)

第1コーラス 富士が美しい ... 風景、 おおらかに ゆたかに ... 徳
 第2コーラス むさしの ... 風景、 真理の世界 深く学べと ... 知
 第3コーラス たくましく のびのびと きたえて このからだ おそれずに ... 体

校 歌

作詞・大山 康晴
 作曲・三善 晃

朝日をあびた 杉の木の
 まっすぐ伸びて どこまでも
 天までとどけと 元気よく
 ほほえみかわす 教室で
 明るく 楽しい 若杉小学校

大地に根をはる 杉の木の
 烈しい風にも 何のその
 やがては大樹と たくましく
 たのもしい姿 仰ぎつつ
 明るく 楽しい 若杉小学校

歴史の古い 天沼や
 荻窪 井荻の村々の
 尊い伝統 守りつつ
 伸びる杉の木 いただいで
 明るく 楽しい 若杉小学校

第1コーラス (杉の木のように) まっすぐ伸びて 元気よく ほほえみかわす ... 体・徳
 第2コーラス (杉の木のように) たくましく ... 体
 第3コーラス 歴史 天沼 荻窪 井荻 伝統 守りつつ ... 歴史・地域

歌詞部門

作品 1

- 一 朝日に匂う 若杉の / 清らかな風へ 窓ひらき / ふれあう心 さわやかな
いい歌いい友 いい出会い / たのしく集い 学び合う / 希望の 天沼小学校
- 二 燃え立つ息吹 高らかに / 飛び行く鳥の はばたきに / 忘れずいつも 元気よく
いい智恵いい技 いい励み / きびしく鍛え 磨き合う / 理想の 天沼小学校
- 三 さざんか薫る ふるさとの / 力となって めざましい / 歴史を築き 文化呼ぶ
いい街いい夢 いい未来 / まぶしく語り 咲かし合う / みんなの 天沼小学校

(浦安市立明海南小学校校歌)

- 一 朝日に匂う 緑葉の / 明日呼ぶ風へ 窓開き / 明るい笑顔 ふれあって
やさしい心 思いやり / すてきな夢を 咲かし行く / 希望の 明海南小学校
- 二 波打つ海の 高鳴りに / あふれる元気 はつらつと / 体と知恵を 磨き合い
苦しいことも 打ち勝って / 若木のように 伸びて行く / 理想の 明海南小学校
- 三 栄えるまちは すばらしい / ふるさと誇る あこがれに / 力を合わせ 手をつなぎ
大きな未来 はばたいて / 世界へ虹を 架けて行く / みんなの 明海南小学校

作品 2

- 一 清らかな 水が流れる 天沼の / 街にこだます 僕らの声は
未来に向かって 羽ばたくための / 一つ一つを刻んでる
大好きな 天沼 天沼小学校
- 二 あなたと私の 友情を / 弁天さまが 見つめてる
やりたいことは 何でもやろう / 手と手をつなぎ 歩んでく
愛する 天沼 天沼小学校

- 第1フレーズ 清らかな水が流れる天沼 ...風景、 未来に向かって ...未来志向
第2フレーズ 友情を 手と手をつなぎ ...心 弁天さま ...風景
やりたいことは何でもやろう ...心意気

作品 3

- 一 朝日の光をあびて登校しましょう / 元気に明るく笑顔で
屋上からは沢山のたてものが見えて / ここは世界に一つの天沼小学校
ここは明るくて楽しい天沼小学校

- 第1フレーズ 元気に明るく笑顔で ...心
屋上からは沢山のたてものが見えて ...風景

私の願い 1

両校の伝統を継承する意味もあり、以下に示すような杉五小旧校歌と若杉小現校歌に共通している「詩のこころ」を大切に作詞、作曲をしていただき、天沼小においても永く歌い継いでいただきたい。

杉並区のシンボル「杉」に託して、今は小さな若い杉だが、天に向かって雲をも払い月をも取り星をも拾う勢いで、幾多の困難が襲ってきても(嵐が来ても、雪が積もっても、霜が降りても)めげず、曲がらず折れず真っ直ぐにぐんぐん伸びて皆が見上げる大樹となり、天沼の歴史や伝統を見守って欲しい。(天沼小の教育を受けた児童が、曲がった心を持たず真っ直ぐな心を常に持って逆境にめげず、世の中のために大事をなし尊敬されるたくましい立派な人間になり、天沼の古い歴史や尊い伝統を大切にふる郷土愛あふれる人間に育て欲しい。)

私の願い 2 すくすくと躊躇せず思いっきり育て欲しい。

私の願い 3 3ばんまで。はげしくじゃなくてきれいなうたにしてください。

私の願い 4 杉五の校しゃのなにかをのこしたい。

1のキーワード 「杉」

(学校)

今は開校したばかりの若い学校(杉)だけれども、天に向かって、困難にもめげず、ぐんぐん伸びて大樹(立派な学校)になり、天沼の歴史や伝統を守って欲しい。

(子どもたち)

若い子どもたちが、天沼小学校の教育を受けて、真っ直ぐな心をもって、逆境にもめげず、世の中のために大事をなし、立派な人間に成長し、天沼の歴史や伝統と大切にふる郷土愛にあふれる人に育て欲しい。

2のキーワード 「すくすくと」「思いっきり」

3は、曲調がきれいな校歌。

4は、杉並第五小の校舎の中にある何かを校歌に入れて欲しい。

天沼小学校校歌 たたき台

校歌のイメージは「杉」の木である。

「杉」のように曲がらず真っ直ぐに伸びて成長する学校であり、子どもたちは、「杉」のように真っ直ぐにのびのびと成長し、困難にもめげずにたくましく育て欲しい。

ストーリー

生まれたばかりの学校が、子どもたちとともに「杉」のように真っ直ぐに成長し、立派な学校となる。

天沼の地に抱かれて、成長を支えてもらうが、未来の日には成長した子どもたちが、天沼の地を支えていく人となる。